昭和51年9月14日国鉄首都特別扱承認新聞紙第422号

週刊 うたごえ新聞

6／4 (1979年) NO. 761

THE SINGING VOICE OF JAPAN
日本のうたごえ全国協議会機関紙
発行 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03 (209) 0638～9 うたごえ新聞社
振替口座 東京2—5631 昭和34年1月31日
第三種郵便物認可 毎週月曜日発行
1部80円（〒15円）・月330円（〒70円）

チャオ！日本のみなさん ベトナム民族楽団来日

▲ LP「勝利の春」を贈られるベトナム民族楽団（5月17日、成田空港で）

全国69公演で縦断

（ベトナムのうたごえ）

新レコード贈る

ベトナム民族楽団は、五～七月の二ヵ月間、A・B班編成で全国六十九回公演のために、ゴー・シー・ヒエンさん（団長）ら十五人が五月十七日、新東京国際空港に到着しました。

招へいの全国労音、日本ベトナム友好協会、日本電波ニュースの他、音楽センターやわらび座の各団体が出迎えました。

今回の来日を記念して作られたベトナムのLP第二弾「勝利の春」のジャケットのモデルとなった歌手のアーイ・バンさんは、黄色と紺の花柄のアオザイ姿で表われ、音楽センターの楠本氏と再会しレコードが渡されました。

翌十八日に、芝パークホテルにおいて記者会見が開かれました。

団長のゴー・シー・ヒエンさんからベトナムの多くの歌舞団の中から選ばれた歌手四人、民族楽器奏者八人と通訳の二名が紹介され、「両国の文化交流、相互理解と友情をさらに深めたい」と、あいさつがのべられ、今回の演奏の特長が語られました。

演目は、昨年の公演でおなじみのトルン、クロンプット、一弦琴、十六弦琴の他に、まだ未紹介のダイや三十六弦琴、琴テイン（二弦琴）などの民族楽器による様ざまな演奏。「祭りの音楽」などの古典音楽の合奏や、四人の歌手によってベトナム北・中・南部の民謡「船べりにすわって」「帰らないで」が独唱されたり、ベトナムと日本の友好をうたう「チュオンソン山——富士」や労働と愛を讃える「貯水池をつくる人びと」などが演奏予定されています。

会見では、トルンによる「さくらさくら」など民族楽器を使った演奏が披ろうされました。

Aグループ（東日本）		Bグループ（西日本）	
5／22(火)	日比谷公会堂	5／22(火)	相模原市民会館
24(木)	川越市民会館	24(木)	品川公会堂
25(金)	豊島公会堂	25(金)	横浜青少年H
26(土)	大宮市民会館	29(火)	静岡市民文化会館
28(月)	釧路市公会堂	30(水)	名古屋市民会館中H
29(火)	帯広市民会館	31(木)	長浜市民会館
30(水)	深川市民会館	6／1(金)	大津市民会館大H
31(木)	滝川文化C	2(土)	赤旗まつり
6／2(土)	江差体育館	3(日)	〃（東京都調布）
3(日)	八雲福祉C	4(月)	京都府立勤労会館
4(月)	小樽市民会館	5(火)	福知山厚生会館
6(水)	札幌厚生年金H	7(木)	神戸文化大H
7(木)	岩内公民館	9(土)	宍粟山崎町立小学校講堂
8(金)	函館市民会館	11(月)	大阪毎日H
11(月)	岩手県民会館中H	12(火)	〃
13(水)	八戸市公民館	13(水)	〃
14(木)	青森市民会館	14(木)	岡山市民会館
15(金)	横手市民会館	16(土)	広島市公会堂
18(月)	鶴岡文化会館	17(日)	宇部市民館
20(水)	白河市民会館	18(月)	萩市民会館
21(木)	郡山市民会館	20(水)	浜田市民会館
22(金)	会津市民会館	21(木)	島根県民会館
23(土)	いわき市民会館	22(金)	米子市公会堂
25(月)	千葉市民会館	23(土)	姫路市文化C
26(火)	栃木会館	25(月)	新居浜市民会館大H
27(水)	茨城県民文化C	26(火)	松山市民会館
28(木)	川崎産業文化会館	27(水)	高知県民文化H
30(土)	諏訪文化C	29(金)	大牟田市民会館
7／1(日)	飯田市文化会館	30(土)	人吉市民会館
3(火)	金沢厚生年金会館	7／4(水)	那覇市民会館
4(水)	富山県民会館	6(金)	立川市市民会館
5(木)	福井市文化会館	8(日)	荒川区民会館
7(土)	和歌山県民文化会館大H	10(火)	東京厚生年金会館
10(火)	東京厚生年金会館	11(水)	浜松市民会館
（帯広は7時、茨城県民は6時15分、飯田市は2時、他は6時半開演）		（荒川区民が1時、他はすべて6時半開演）	

公演成功と「勝利の春」を

日本のうたごえ全国協議会

昨年、十年ぶりに来日したベトナム国立歌舞団が八万名を超える公演を成功させ、日本との交流に大きな力を果したことは、私たちの記憶に新しいところです。

来日したベトナム民族楽団（ゴー・シー・ヒエン団長）もまた、三弦琴、四弦琴、胡弓などと、「統一のうた」（独唱）、「チュオンソン山＝富士」（創作曲）などの歌を持って公演します。全国六十九ステージの今公演は、単なる海外楽団の来日というだけでなく、「祖国侵略に対する正義の闘争」をすすめてきたベトナム人民への支援や、昨年の「訪ベトナム日本のうたごえ演奏班」「ベトナム訪問うたごえ代表団」と交わされた文化交流をさらに発展させるためにも、ぜひ成功させなければなりません。

すでに各地で作られた公演実行委員会には、地元のうたごえサークルも加わり、公演成功に全力を上げていますが担当のサークルだけでなくすべてのうたごえサークルが実行委員会に参加しましょう。

公演を通して「ベトナムへの普及をめざしています。

このレコード制作、普及もまた音楽センターとベトナム文化出版社で結ばれた協約に基づく一環で、今後のベトナム交流をすすめる基盤となるでしょう。そして全国で最後の追い上げをめざしている「音楽センター会館」募金の一助にもするため、公演のとりくみの中で多くの人に「勝利の春」を届け、すべてのサークルが具体的な目標数を上げた活動を展開しましょう。

ふめんだい

アオザイの国・ベトナムから民族楽団の来日。

旧南・北にある小歌舞団の全国代表。

昔は仏、米、今も中国の武力侵入に抗した国の、何と明るい歌と器楽演奏。

☆ ★ ☆

昨年、二つのうたごえ代表団が訪越、まだ五つしか授与されていない「友好勲章」までもらった。

今度は、音楽センターが「勝利の春」LPを制作して歓迎する。

☆ ★ ☆

三～六面に募金特集。達成、達成とのかけ声よりもその中の人間模様、サークル模様を追って。

戸田君（仮名）の話は私たちに何を教えてくれるのか……。

☆ ★ ☆

アオザイの
心をのせて
「勝利の春」

（末）